

(薬剤師の方へ)

## 在宅療養に関するアンケート調査

### 調査ご協力をお願い

近年、高齢者をはじめとした在宅医療・介護を取り巻く環境は大きく変化し、今後在宅での療養生活を送る区民は増加していくことが見込まれます。高齢者が住み慣れた地域で安心して療養生活を続けるためには、医療・介護の関係者が連携し、本人・家族が望む生活の実現に向けて支援することが重要であり、その仕組みづくりが喫緊の課題となっています。

練馬区では、在宅療養に関する取組を検討する際の基礎資料とするため、医療・介護の関係者を対象に、「在宅療養に関するアンケート調査」を実施することといたしました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。なお、調査結果は、この調査の目的以外に使用することはありません。

平成 25 年 8 月

練馬区

### 《送信期限・問い合わせ先》

ご記入が済みましたら、誠に恐縮ですが、**8月21日(水)まで**に FAX で担当までお送りください。(調査票は 4 枚あります。)

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

連絡先：練馬区健康福祉事業本部地域医療担当部地域医療課医療連携担当係

電話：03-5984-4673 (直通) FAX：03-5984-1211

## アンケート調査票

問 1 在宅療養支援への取り組み状況についておたずねします。

(1) 訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）を行っていますか。

- ① 行っている          ② 検討中          ③ 今後条件が整えば行いたい  
④ 行っていない（今後予定もない）  
（ → ②③④と答えた方は問3へ ）

(2) 平成 25 年 6 月中に訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）を行った患者数および延べ件数をご記入ください。

患者数（                  ）人          延べ件数（                  ）件

問 2 訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）を実施するに当たって、苦勞されていることは何ですか。（複数回答可）

- ① 医師との連携が取りにくい  
② ケアマネジャーなど他職種（医師以外）との連携が取りにくい  
③ 本人・家族との意思疎通や対応に苦慮する  
④ 算定に当たって必要な書類の作成が煩雑である  
⑤ その他（    ）

«問 1 (1) で「②検討中」「③今後条件が整えば行いたい」「④行っていない（今後予定もない）」と答えた方にお聞きします»

問 3 訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）を行っていない理由は何ですか。（複数回答可）

- ① 薬局内での業務やその他の活動で忙しく、訪問する余裕がないから  
② 年齢や病気のため体力・精神的に難しいから  
③ 訪問薬剤管理指導を実施しなくても十分な収入が得られるから  
④ どのようにして始めたらよいのかわからないから  
⑤ 負担が重そうだから  
⑥ その他（    ）

《全員の方にお聞きします》

問4 訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）を行う薬局を増やすために必要なことは何だと思いませんか。（複数回答可）

- ① 他の薬局との連携体制を整える
- ② 在宅療養や訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）に関する研修の開催や既に取り組んでいる薬局の紹介
- ③ 訪問できる薬剤師の確保
- ④ 医師・歯科医師や介護スタッフとの連携体制、顔の見える関係の構築
- ⑤ 診療報酬や介護報酬の増
- ⑥ 在宅療養に関する区民の意識の高揚
- ⑦ その他（ ）

問5 在宅療養を行うにあたって多職種連携は必要だと思いますか。

- ① 必要である
- ② 必要でない（問5-2へ進む）

《問5で「②必要でない」と答えた方にお聞きします》

問5-2 必要でないと考える理由は何ですか。

- ① 職種によって制度や考え方が異なり連携するのは困難だから
- ② それぞれの専門分野の仕事を行えば事足りるから
- ③ その他（ ）

《全員の方にお聞きします》

問6 多職種連携が進んでいない理由は何だと思いませんか。（3つまでに○）

- ① 介護や福祉の知識や制度がわからない
- ② お互いに多忙で連絡がとれない
- ③ 個人情報保護の観点から情報が共有されない
- ④ 交流の場がない
- ⑤ 誰と連絡をとればいいのかわからない
- ⑥ 介護従事者の医療に関する知識や理解が不足している
- ⑦ その他（ ）

問7 多職種連携を進めるためには何が必要だと思いますか。（複数回答可）

- ① 事例検討会、研修や交流会をとおした顔の見える関係づくり
- ② ICT（情報通信技術）を活用したタイムリーな情報のやりとり
- ③ 多職種をコーディネートできる人材の育成
- ④ 医療・介護の知識や制度、各職種の専門性の相互理解のための研修
- ⑤ その他（ ）

問 8 多職種連携において認知症特有の課題はどんなことだと思いますか。(複数回答可)

- ① 認知症対応の医療機関や介護サービスの情報が不足
- ② 医療機関や相談機関、介護サービス事業者とのコミュニケーションの場が不足
- ③ 早期発見、早期に医療や介護につなげる必要性の理解が不十分
- ④ 老老世帯やひとり暮らしの方等、当事者の意思決定を支えるしくみが整っていない
- ⑤ その他 ( )

問 9 退院前(時)カンファレンスに出席したことがありますか。

- ① ある
- ② ない(→ 問9-2へ)

《問9で「②ない」と答えた方にお聞きします》

問 9-2 退院前(時)カンファレンスに出席したことがない理由は何ですか。

- ① 病院から参加を求められたことがない
- ② 忙しくて参加できない
- ③ その他 ( )

《全員の方にお聞きします》

問 10 介護保険制度及び介護サービスの内容についてどの程度習熟していますか。

- ① 十分理解している
- ② やや理解している
- ③ あまり理解していない
- ④ 全く理解していない

問 11 サービス担当者会議※に出席したことがありますか。

※ケアマネジャーがサービス担当者を招集し、ケアプランの内容検討などを行う会議

- ① ある
- ② ない(→ 問11-2へ)

《問11で「②ない」と答えた方にお聞きします》

問 11-2 サービス担当者会議に出席したことがない理由は何ですか。

- ① ケアマネジャーから参加を求められたことがない
- ② 忙しくて参加できない
- ③ その他 ( )

《全員の方にお聞きします》

問 12 患者の情報について、次の関係機関、職種への連携状況をお答えください。

(ア～ケそれぞれ1つに○)

	と つ て い な い	と つ て い な い あ ま り	と つ て い る あ る 程 度	と つ て い る よ く
ア 病院の医師・医療ソーシャルワーカー・退院調整看護師	1	2	3	4
イ 主治医	1	2	3	4
ウ 主治医以外の診療科の医師	1	2	3	4
エ 歯科医師	1	2	3	4
オ 高齢者相談センター(地域包括支援センター本所・支所)	1	2	3	4
カ 訪問看護ステーション	1	2	3	4
キ 訪問・通所リハビリテーション	1	2	3	4
ク ケアマネジャー	1	2	3	4
ケ 訪問介護(ホームヘルパー)	1	2	3	4

